

何を使う

機器 スマートフォン・タブレット・ビデオカメラ

ソフトウェア（アプリ）

- ・学校 HP（ネットコモンズ）
- ・You tube



それをどう使う（それで何ができる）

- ・ネットコモンズから、授業内容の指示（動画の視聴・マインドマップの作成演習）と、公開動画（You tube）の URL について確認を行う。
- ・動画で確認することにより、授業における導入をスムーズに行うことができる。
- ・様々な事例を紹介でき、かつ学校での授業以外の場面でも繰り返して確認が可能。
- ・マインドマップの作成を動画で見ることににより、実際に作業する過程をイメージしやすい。

ここが変わる、活用メリット【ICT 活用 Before-After】

【 Before 】

○資料やスライド、動画、黒板を用いた説明（授業内）。マインドマップの作成演習（授業内）、生徒同士での発表（授業内）。



【 After 】 メリット

- 生徒同士の発表のみを授業内で実施（授業での導入とマインドマップ作成演習は事前に終了済）。学びの重点化の観点から、全体内容の精選が可能。
- 各家庭での事前学習および演習により、授業での発表や質疑応答といった、主体的・対話的で深い学びを実践することができる。
- 個々の習熟の度合いに応じた動画の視聴ができるため、知識・理解をより深めることができる。

機器 (台数)	スマホ	タブレット	PC	その他	学習 場面	一 斉	個 別	協 働
	○	○	○				○	
授業実施時に必要な環境→				インターネット接続		1人1台端末		
活用が想定される校種	小	中	高	特	活用が想定される教科・科目等	全教科		
	○	○	○	○	活用が想定される場面	演示実験、生徒実験		